



282

若竹だより



運営基本理念

報四恩

父母の恩・社会の恩

郷土の恩・大自然の恩

- 【私たちの願い】 ①よるこんで与える人間となろう ②いのちを大切にする人間となろう
 ③こころ静かに考える人間となろう ④使命に生きる人間となろう ⑤規律ある幸せ喜ぶ人間となろう

法人の社会貢献事業 ①四国八十八ヵ所巡礼者無料宿泊&お接待 ②講演会・シンポジウム等

若竹の食事風景

—命を大切にする人間となろう—

園長 野田大燈

暑中お見舞い申し上げます。

若竹学園の増改築工事は工務店さんのご努力で順調に推移しておりますことをご報告申し上げます。

ハード面の進捗に並行して大切なことはソフト面の充実です。

子ども達への支援に対して職員間で満足し合っても、第三者の目から見て如何か、と言うことです。

その為に社会的養護関係施設の「第三者評価」を受審しました。

審査員は2名で朝9時から夕刻5時までの2日間ですが、毎昼食時には審査員の方も子ども達と食事を共にして、食事の内容や子ども達と職員の動きもチェックすると言うものでした。

評価は他の施設と比較して法人の理念や基本方針が確立されておりしかも周知実行されているか、経営環境の変化に適切な対応ができていないか、など厳しいものでした。

その中で「一般家庭では食事の時には楽しくお喋りしながらの団欒ですが、若竹学園ではどうして食事始めから15分間が沈黙なのですか?。一

般家庭の食事と逆行しているのではないですか」との指摘を受けました。

そうなのです。若竹学園の食事は正坐で食事開始より15分間は無言なのです。

学園には「私たちの願い」と言う5項目を必ず食事前に唱和します。

その2番目が「いのちを大切にする人間となろう」とあります。

子ども達には朝昼夜の3度の食事を厨房の職員さんが準備してくれています。

学園は海拔400mですので冬場には雪が降ったり凍結したりします。

でも厨房の職員さんはどんな天候でも来て下さり食事を作ってくれるのです。

子ども達の要望を聞いて美味しい料理をして下さいます。

その食材は時節や栄養を考えて選んで買って来られ、調理して下さるのです。

学園の子ども達は、調理員さんが作って下さった食材の一個一個を眺め味わって食べているのです。

食材の一個一個の命を確かめつつ食しているのが当然無言となるのです。

食事の際の「戴きます」は食事を口に運ぶ前に食器を両手で捧げての感謝の言葉なのですね。

—了—

上棟式

7 月 26 日水曜日に若竹学園増築部分の上棟式を行いました。高校 1 年生と小学 6 年生の 2 名の男児が建設途中の建物に代表で登りました。



園長先生より、上棟式について説明と挨拶があった後、最初は現場監督さんが左右の角からお餅を撒くのを職員が受け取りました。



そして、いよいよ代表 2 名の出番です。園長先生と一緒にお菓子を撒きました。上手く取れる子ども、落しながらも取ろうとする子ども、反応は様々でしたが、真剣に参加していました。子ども達にとって、貴重な体験になりました。

こうじのとちゅうに入れてすごかったです。みんなになげたおかしをキャッチしてくれました。すごくてのしかったです。（小 6 男児）



～只今、増築部分建設中です～



地引網体験

7 月 1 日に、小学 6 年生 2 名が、サラスポーツクラブさん主催の地引網体験に参加しました。

天候にも恵まれ、行く前から子ども達の期待は高まっていました。初めはボランティアの方に緊張していた様子でしたが、地引網体験や調理体験、作品作り等、場面ごとに助けて頂くうちに、段々と嬉しそうな表情に変わっていったことが印象的でした。



特に、昼食に食べたそうめん流しや地引網で捕った魚をさばいたりしたことが楽しかったようです。気温が高かった為、疲れたかな…と心配もしましたが、子ども達は、学園ではできない体験が出来たことで「楽しかった～」と、とても満足していました。



非行防止教室

7 月 18 日、香川県警察本部少年課の方に来て頂き、非行防止教室を行って頂きました。

万引き、SNS 被害防止、いじめ防止の講話をしていただき、子ども達は真剣に聞いていました。

青峰・若竹学級だより 7月

小中合同授業

音楽の授業を、小中合同で行いました。

題材にした映画の中から、高校生たちが



様々な楽器を演奏する場面を取り上げ、木管楽器や金管楽器、打楽器などの名称や特徴をまとめました。演奏されていた曲の感じや特徴も、全員で振り返りを行うことができます。知っている楽器について発表したり、考えたことを伝えあったりしながら、楽しく学ぶ姿が見られました。

平和学習

小中合同で平和学習を行いました。7月4日の朝の集会で高松でも大きな空襲があったことを聞いたり、掲示してある新聞記事を自分で読んで学んだりしています。



また、合同での授業では、広島に投下された原子爆弾についてアニメの視聴を通して知り、さらに核兵器の影響や現状がわかる資料や解説から、一人ひとりが、戦争の恐ろしさや平和のあり方を考えることができました。

理科の実験

小学6年生の理科で、動物や植物のからだのはたらきについて学びました。でんぷんと唾液を用いた実験から食べ物が消化されるしくみに気づいたり、ホウセンカが根から吸い上げた水が、葉から水蒸気となって出されることを確かめたりしました。



中学校でも各学年の学習内容に沿って、化学実験などを行い、予想と結果を比べるおもしろさを実感しながら、学びを深めることができます。

水泳学習

小中合同で水泳学習を行いました。



25メートルを速く泳ぐことや、自分は何メートル泳げるのかなど、自分の目標を決めて一生懸命練習していました。友達と遊ぶだけでなく、教え合ったり競争したりしながら、楽しい水泳学習の時間を過ごすことができました。



亀山学園夏祭り

7 月 22 日土曜日に亀山学園の夏祭りに参加しました。



初めて参加する子どもも多く、最初は夏祭りの雰囲気や人の多さにたじろぐ姿も見られました。

慣れてくると楽しそうに射的やダーツをしたり、美味しそうにうどんやネギ焼きを食べていました。



どの出店も沢山の人が並んでおり、なかなか前に進むことが出来ない中でも班の職員や子ども同士で話しをしながら楽しく過ごしていました。

射的では的になかなか当たらず苦戦している子どももいましたが、当たると大きな声で「当たった！」と嬉しそうにしていたのが印象的です。

～御寄附ありがとうございました～

株日光商事様
高岸工務店 松木様
株ヒカリ様
佐藤 秀樹様

お菓子
ジュース
食品
桃

7月の行事

1日 地引網体験

6日 図書館学習

19日 買物学習

22日 図書館学習

22日 亀山学園夏祭り

29日 学園内夏祭り



在籍人数 平成 29 年 7 月 25 日日現在

区 分		県内 (人)	県外 (人)	合計 (人)
男 子	小学生	4	1	5
	中学生	5	4	9
	その他	1	0	1
	計	10	5	15
女 子	小学生	0	0	0
	中学生	4	1	5
	その他	0	0	0
	計	4	1	5
合計		14	6	20

編集後記

夏休みに入り、子ども達はこれから始まる行事などに胸を躍らせています。夏の暑さに負けず子ども達と思い出を作っていきたいです。

保育士 田部侑梨奈

第 282 発行

〒761-8004 香川県高松市中山町 1501-192

TEL 087-882-1000 FAX 087-882-1160

ホームページ <http://4on.or.jp/>

Eメール wakatake@4on.or.jp

編集兼発行者 若竹学園 編集委員

発行責任者 野田 大燈